

## 保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。正常な使用状態において、万一故障した場合には、お買い上げ販売店に必ず本保証書を提示の上、修理を依頼してください。別掲の保証規定により無料で修理いたします。

※印欄に記入がない場合は、無効となりますので、お買い上げ時に必ず記入の有無をご確認ください。

商品名	<b>GPS-55S</b>		
保証期間	※ お買い上げ年月日		1 年 間
	平成	年 月 日から	
※ お客様	住 所	〒 _____ 電話 _____	
	氏 名	_____ 様	
※ 販売店	店 名	_____ ㊦	
	住 所	〒 _____ 電話 _____	

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 横浜市南区白妙町4丁目43番地4  
サービス部：TEL. 045 (251) 2687

 **MARUHAMA**

GPS/カー・ロケ帯受信機  
ソーラーレーダー探知機

# GPS-55S

## 取扱説明書

〈保証書付〉

GPS-55Sをお買い上げいただき誠にありがとうございます  
でございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくための  
ガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお  
読みにになり内容を十分理解された上でご使用くださ  
るようお願いします。

また本書はいつもお手元においてその都度ご参照く  
ださい。

# 目次

1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. 製品の構成	3
3. 主な特長	4
4. 各部の名称とはたらき	5
5. 取付方法	7
6. コードレス使用とカー電源コード接続の選択について	11
7. 電源について	12
8. 使用方法（基本操作編）	
1. 操作方法	15
2. 通常動作モードの画面表示	16
3. レーダー波を受信すると	18
4. オービス登録位置に接近すると	20
5. カー・ロケーターシステム電波を受信すると	21
6. 警告音の優先順位	22
7. オートミュート機能	22
8. ミュート機能	22
9. ラスト速度機能	23
9. 使用方法（応用操作編）	
1. 各種動作モードと操作方法	24
2. 一般設定モードの設定方法	
〈音量の調節〉	26
〈登録オービスの一般道と高速道路を識別したいとき〉	28
〈レーダーの受信感度を設定します〉	30
〈警告音を変更したいとき〉	32







〈カー・ロケーターシステムの動作設定をします〉	35
〈交通取締連絡波の動作設定をします〉	37
〈警察デジタル無線の動作設定をします〉	38
〈ディスプレイのバックライト色を変更したいとき〉	39
〈AAC（オートアラームカット）の反応速度を変更したいとき〉	40
〈振動センサー感度を設定します〉	42
〈一般設定モードを全て初期状態にもどす〉	44
3. オリジナルポイント（ユーザー）設定モードの設定方法	45
〈登録した内容を全てクリアしたいときは〉	49
〈オリジナルポイント登録位置に接近すると〉	50
〈ナビポイントの使い方〉	51
4. アドバンス設定モードの設定方法	
〈登録オービスの反応距離を変更したいとき〉	52
〈登録オービスの反応方位を変更したいとき〉	54
〈高速反応距離とその速度を変更したいとき〉	56
〈サンバイザー取付時、LCD表示を反転したいとき〉	58
〈セキュリティ動作の開始時間を変更したいとき〉	59
〈アドバンス設定モードを全て初期状態にもどす〉	61
5. セキュリティモードの設定と警告方法	62
〈セキュリティモードを解除するには〉	63
10. 使用上のご注意	64
11. 故障とお考えになる前に	65
12. 主な仕様	66

# 1. 安全についてのお願いとご注意

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では最初に、もしお守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある事項を、“警告”として掲げています。次に、もしお守りいただかないと、使用者がけがをしたり、製品の故障や損傷につながるおそれがある事項を“注意”として掲げています。また、“機能上の制約”についても説明しています。





## 警告

(人身の安全のためにお守りいただくこと)


-  ■**運転の妨げにならない場所に取り付けてください。**  
本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。  
また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。
-  ■**本機を濡らさないでください。**  
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因となります。
-  ■**車を運転中に本機を操作しないでください。**  
車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因となります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心掛けてください。
-  ■**ケースは絶対にあけないでください。**  
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ■**スピードの出しすぎにご注意ください。**  
本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心掛けてください。
-  ■**発熱、発臭、発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。**  
これらの異常を検出した場合には、直ちに本機の電源を切り、使用を中止してください。(カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。)そのまま使用しますと、火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼してください。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。

## 注意

(けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)

-  ■**衝撃や強い振動を加えないでください。**  
衝撃や強い振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。
-  ■**動作範囲内の温度条件下でご使用ください。**  
本機は0℃～+60℃の範囲で動作します。この範囲外でご使用になりますと故障の原因になります。
-  ■**高温時の取り扱いにご注意ください。**  
本体に長時間直射日光が当たりますと、かなり高温になりますので、本機に触れる際には、十分ご注意ください。
-  ■**ケースが汚れた場合は、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。**  
シンナー、ベンジン、化学雑巾などを使用しますと、ケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際はかならず本機の電源を切り、カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。

## 機能上の制約

-  ■**日本国内で使用してください。**  
本機の仕様は日本国内向けとなっています。外国では電波方式が異なりますので、使用できません。
- GPS電波が受信できない場合はレシーバー機能/レーダー受信機のみ機能となります。**
- 周囲の環境により、レーダー及びGPSの電波が受信しにくい場合があります。**  
前方に走行中の車（とくに大型車）がいる場合や、カーブ、坂道などでは、電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは、とくに注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車も受信しにくい場合があります。
- 取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。**  
取締レーダー波以外にも、同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドアおよび車両通過計測器、港湾、航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが、故障ではありません。

## 2. 製品の構成

お買い上げいただいたGPS-500Sは次の品目から構成されています。

- 本体 ..... 1台
- 取り付けステー（サンバイザー用） ..... 1個
- .....（ダッシュボード用） ..... 1個
- カー電源コード ..... 1本
- 両面テープ ..... 1個
- 取扱説明書兼保証書（本紙） ..... 1冊

※本説明書を紛失、汚損された場合は、切手400円分を同封の上、弊社宛にご請求ください。

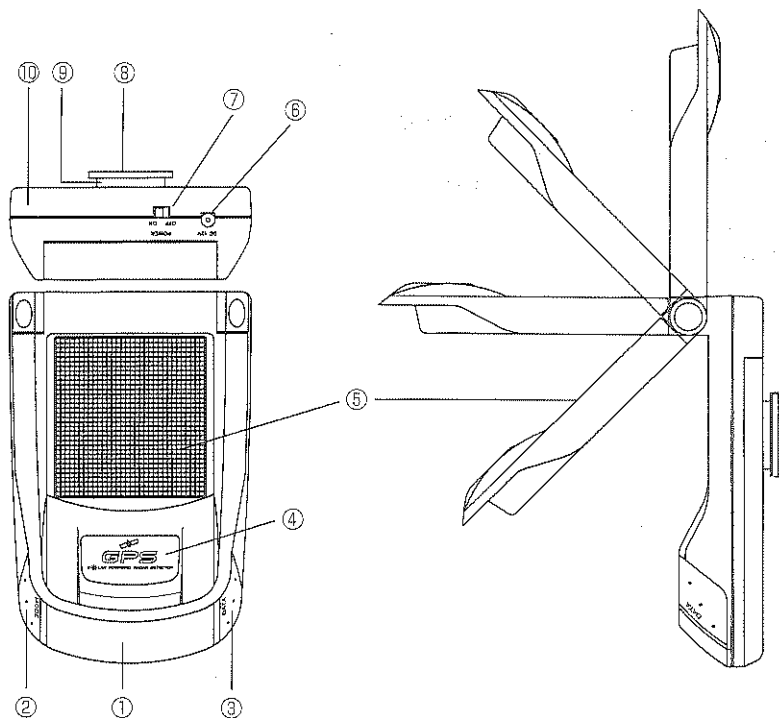
※別売のリピータアンテナについて

本製品を使用する際、天空が開いていないためGPS電波を受信できない車や、天空が開いていてもフロントガラス等に金属コーティング等の断熱ガラスを使用しているためGPS電波を受信しにくい車があります。このような場合は、別売のリピータアンテナをご使用していただくことにより、安定したGPS電波の受信が可能になります。尚、リピータアンテナのご購入に関しては弊社サービス部までお問い合わせください。

## 3. 主な特長

- 日本国内オービス位置をメモリー  
メモリーしてあるオービス位置に近づくとGPS電波による自車位置測定で音と表示で警告。
- ソーラーバッテリーでコードレスで使用でき、サンバイザー取付が可能。LCD表示も180°反転できます。
- オリジナルポイントは緯度、経度入力も可能  
現地登録だけでなく、どこでも入力が可能。（最大70ポイント）
- 緊急車両のカー・ロケーターシステム電波が受信可能  
緊急車両に搭載されている自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両へ進路を譲り、安全な走行ができます。
- 警察デジタル無線が受信可能（160MHz帯）
- 交通取締連絡波（350.1MHz）が音声受信できます。
- グラフィックディスプレイ採用で音だけでなく視覚でも確認できます。
- ディスプレイのバックライトカラーはグリーン/オレンジ/レッドの3色から選択できます。
- ナビ機能  
オービスや目的地方向、距離が表示できます。
- 高速道路/一般道路識別モード搭載
- 上下線オービスの識別が可能
- AAC（オートアラームカット）反応速度は0km/h~80km/hまで設定可能  
GPS電波が受信できないときは、自動的に振動センサーで検知
- 警告音は13種類の中から選択可能
- 進行方位コンパス/スピード表示/時計表示
- ステルス/新Hシステム/後方対応
- その他、盗難警告等多彩な機能を満載

## 4. 各部の名称とはたらき



### ①LCDディスプレイ

各種動作モードや設定モードを表示します。(バックライト付) サンバイザーに取り付けるときは、180°表示を反転することができます。

### ②モードボタン (MODE)

各種動作モードの画面切替。1.5秒以上の長押しで一般設定モード移行、設定後1.5秒以上の長押しで設定値確定。

### ③データボタン (DATA)

各種設定値の変更、1.5秒以上の長押しでオリジナルポイント設定モード移行。設定後、1.5秒以上の長押しで設定値確定。

### ④GPSアンテナ部

人工衛星からのGPS電波を受信します。

### ⑤ソーラーパネル

太陽光を電気に変え、充電機に充電します。サンバイザーに取り付けるときはソーラーパネル部を開きます。

### ⑥電源ジャック (DC12V)

付属のカー電源コードを接続します。DC12V車専用。

### ⑦電源スイッチ (POWER)

本機の主電源をON/OFFします。

### ⑧スピーカー

警告音や設定音を発します。

### ⑨取付ステー装着部

付属の取付ステーを装着し、ダッシュボードや、サンバイザーに取り付けします。

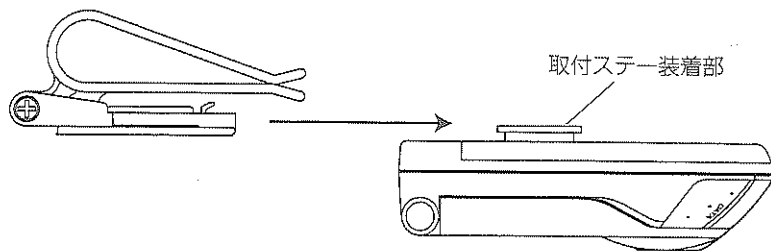
### ⑩レーダーアンテナ部

レーダー波を受信します。

## 5. 取付方法

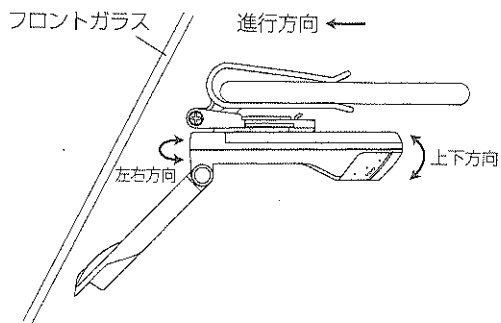
### サンバイザーに取り付ける

1. 付属のサンバイザー取付ステーを本体に取り付けます。  
 本体の取付ステー装着部にサンバイザー取付ステーをスライドさせて取り付けます。



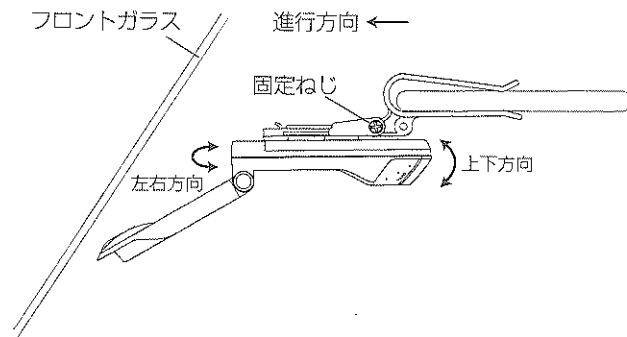
2. サンバイザーに取り付けます。  
 車両側のサンバイザーとフロントガラスの位置関係によって下図のような取り付け方が選択できます。

#### ①サンバイザーとフロントガラスの間が近い場合



- 本体を道路に対して水平に、また進行方向（前方）を向くように角度を調整してください。

#### ②サンバイザーとフロントガラスの間が遠い場合



- 一度、固定ねじを外し、向きを変えて固定してください。
- 本体を道路に対して水平、また進行方向（前方）を向くように角度を調整してください。

#### △警告

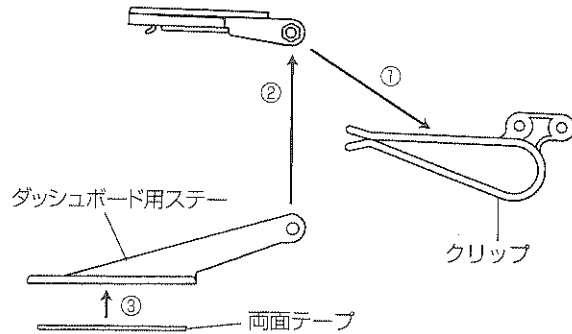
- サンバイザーへ取り付けする場合、運転の妨げになる場所には取り付けしないでください。事故の原因となります。

#### △注意

- GPSアンテナ部、ソーラーパネル部に、金属やゴム等の障害物がこない場所に取り付けしてください。
- コードレスで使用する場合は、ソーラーパネル部に太陽光が当たるようにしてください。

ダッシュボードに取り付ける

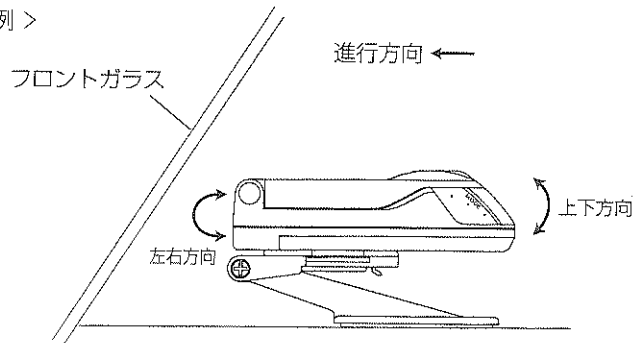
1. サンバイザー取付ステーから①クリップ部をはずし、  
②ダッシュボード用ステーを取り付けます。  
③両面テープの片方のはくり紙をはがしダッシュボード用ステーに貼り付けます。



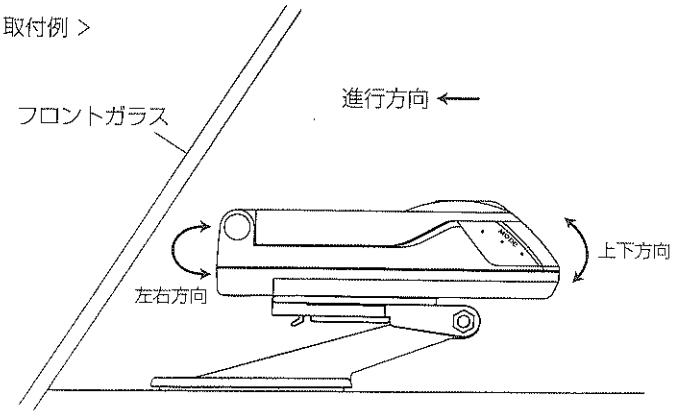
2. ダッシュボードに取り付けます。

- ①本体の取付ステー装着部にスライドさせてステーを取り付けます。
- ②両面テープのはくり紙をはがしダッシュボードに貼り付け、本体を道路に対して水平に、また進行方向（前方）を向くように角度を調整してください。

< 取付例 >



< 取付例 >



△警告

- エアバックの妨げとなる場所に取り付けしないでください。
- 運転の妨げとなる場所に取り付けしないでください。

△注意

- GPSアンテナ部、ソーラーパネル部の上やレーダーアンテナ部の前に金属やゴム等の障害物がこない場所に取り付けしてください。
- コードレスで使用する場合は、ソーラーパネル部に太陽光が当たるようにしてください。

## 6. コードレス使用とカー電源コード接続の選択について

本製品はコードレスで使用できますが、使用上、制約があります。  
使用目的や使用頻度に合せて、コードレス使用か電源コード使用が選択してください。

カー電源コード使用時	コードレス使用（ソーラーバッテリー）
常時電源接続のため電圧低下がない	使用状況によりバッテリーが消耗する →カー電源コードで充電する必要がある
警察デジタル無線が受信できる	警察デジタル無線を受信できない
常時LCD表示がでる（照明も常時）	警告時やボタンを押したときLCD表示する（照明は夜間のみ）但し、オービス識別表示とAACマークは常時表示
GPSの測位感度及び反応が良好	GPSの測位感度及び反応がやや低減（タイミングにより設定値とズレが生じる場合あり）
セキュリティ機能動作可能	セキュリティ機能動作不可
GPSが測位になるとAAC設定速度で動作（GPS/レーダー）	GPS反応圏外ではAAC機能は振動センサー（レーダーのAAC機能は常時振動センサー）

### ご注意

- コードレスで使用する場合は、必ず最初に付属のカー電源コードで10日ぐらい使用しながら充電してください。
- コードレスで使用時、長時間太陽光が当たらない場所では電源スイッチを切ることをおすすめします。
- 本製品はDC12V車専用です。
- カー電源コードを抜き差しする場合は、本体の電源スイッチを必ずOFFにしてから行ってください。

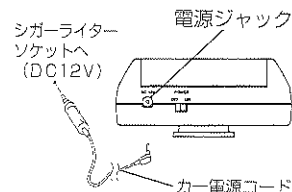
## 7. 電源について

### コードレス（ソーラーバッテリー）で使用する場合

ソーラーパネルにより、太陽光から本体内蔵の充電電池に充電して使用できます。

#### 1. ご使用になる前に

はじめてご使用になる場合、または長い間ご使用にならなかった場合は、付属のカー電源コードを使用して、10日ぐらい使用しながら充電してください（強制充電）。電源スイッチをOFFにして充電すれば数時間で満充電になります。



#### △警告

エアバックの妨げになる場所や、運転の妨げになる場所に配線しないでください。

### ご注意

- シガーライターソケットが汚れていると、接触不良の原因となりますので、よく掃除してから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。
- 本機はDC12V（マイナスアース）車専用です。
- 本機はGPS受信機を搭載していますので、一般のソーラーレーダー探知機に比べて、電流を多く消費します。ロングライフ設計、大容量充電電池を採用していますが、ご使用になる状況によっては電池の消耗が早くなることがあります。（必要としない受信機能はOFFの設定にすることをおすすめします。）

#### 2. 充電状態を確認します。

“DATA” ボタンを短く押すとバッテリー状態が表示されますので、バーグラフが3ヶ点減していることを確認してください。

（P13強制充電時の表示）

#### 3. 充電が完了しましたら、カー電源コードを抜いてください。

（電源スイッチをOFFにしてから抜いてください）



#### 4. オートパワーオフ機能について (△必ず確認してください)

停車中や駐車中など、振動の少ない状態が約3分間以上続くと、自動的に電源が切れます。再び振動が大きくなると電源が入ります。

#### ご注意

- オートパワーオフしない場合は一般設定モード〈振動センサーの感度を設定します〉を参照して、振動センサーの感度を低くしてください。お買い上げ時は3に設定してあります。
- 振動の多い場所ではオートパワーオフしない場合があります。オートパワーオフしないとバッテリーが消耗しますので、このような場所では電源スイッチを切ってください。
- 走行中でも、低速走行や一時停止など、振動が少ない状態が続くとオートパワーオフします。

#### 5. バッテリー表示機能について

カー電源コードでの強制充電時とコードレス(ソーラーバッテリー)使用時のバッテリー容量をディスプレイで確認することができます。

どちらも“DATA”ボタンを短く押すと表示されます。(表示は数秒後に消えます)

強制充電時の表示		コードレス(ソーラーバッテリー) 時の表示	
充電中	CHG E ■■■■ F バーグラフが左から右に流れるように点灯します。	残量が充分	Batt E ■■■■ F バーグラフ3ヶが点灯
		少し消耗	Batt E ■■■ F バーグラフ2ヶが点灯
満充電時	CHG E ■■■■ F バーグラフ3ヶが点滅します。	充電必要 (GPS測位機能は動作しなくなります)	Batt E ■■ F バーグラフ1ヶが点滅(30秒に1回アラーム音と“NO GPS”の表示がでます)

初期充電不足や太陽光が当たらない状況下での使用が続くとバッテリーが消耗してきます。バッテリーチェックをして残量が減ってきましたら早めに強制充電をしてください。

#### ご注意

- 夏季や冬季の駐車中では、車内の温度が極端に高くなったり低くなったりします。そのため電池の充電時間に変化する場合があります。
- 冬季は、日照時間が短く、充電不足になり、ローバッテリーアラームが頻繁に鳴る場合があります。
- 満充電から受信待受時の状態で、約50時間の連続使用ができますが、各種機能の設定状態やバッテリーの寿命により差がでます。
- ソーラーパネル全面に太陽光が当たるように取り付けてください。
- バッテリーチェックする場合は、GPS警告/レーダー波警告音が鳴っていないときに行ってください。
- エラーメッセージとともに“NO GPS”の表示が出たときは、電源スイッチを入れなおすか、強制充電してください。

#### 6. 電池の寿命について

本体内蔵の充電電池は、使用状況にもよりますが、約3年が寿命です。十分に充電しても、長時間動作しなくなった場合は、充電電池が寿命になっています。その場合はカー電源コードでの使用になります。

尚、バッテリーの交換につきましては、お買い上げの販売店、または弊社サービス部にご相談ください。

#### カー電源コードで使用する場合

コードレスの強制充電と同じように本体の電源ジャックと車のシガーライターソケットにカー電源コードを接続した状態で使用します。

## 8. 使用方法 (基本操作編)

本製品は最新のハイテク技術を採用していますので、多彩な機能を有しています。ここでは、購入してすぐ使用できる基本操作編とさらに便利に使用できる応用編にわけて説明します。

### 1. 操作方法

#### 1. 電源を入れます。

取り付けと配線が完了しましたら、視界の広い場所に車を駐車し本体の電源スイッチをONにします。ONにすると“ビッビッ”とアラームが3回鳴ります。

#### 2. 画面が衛星数表示画面になります。

捕捉衛星数が表示されます。(点滅)  
〈自車位置計算中〉

捕捉衛星数



#### ご注意

- 衛星数表示画面(衛星数点滅)のときはGPSによる警告はできません。

#### 3. 自車位置の確定を確認します。

捕捉衛星数が自車位置を確定できる数になると、数字が点灯し自動的に通常動作モードに入ります。

#### ご注意

- 自車位置確定まで3分程度かかりますが、場合によっては長くなる場合があります。このような場合は、取り付け場所を変えるか天空の開いている場所に移動して、GPS電波を受信しやすいようにしてください。特に購入して初めて電源を入れたときや、長時間使用しなかったときは、確定するまで時間がかかる場合があります。

#### 4. 通常動作モードに入ります。

### 2. 通常動作モードの画面表示

通常動作モード時の画面表示はMODEボタンを押すことにより6種類の画面に切り替わります。

- MODEボタンを押す度に下記の画面に変わります。  
コードレスで使用した場合は、一度MODEボタンを短く押すと表示が出ますので再度MODEボタンを押してください。

#### ご注意

- コードレスの場合はタイミングにより、MODEボタンを押してもフル表示しないことがあります。

#### ①衛星数表示画面

捕捉衛星数

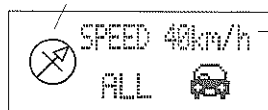
捕捉衛星数が表示されます  
(12個まで)



#### ②速度表示画面

コンパス  
※北の方角を示します

走行速度が表示されます  
(99.9km/hまで)  
※自車進行方向に対し北の方角が表示されます。

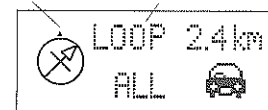


#### ③オービス表示画面

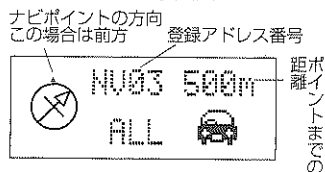
オービスの方向  
この場合は前方 ループコイル式

距離  
オービスまでの

現在位置から5km未満の最も近距離にあるオービス情報(方位、距離、種類)を表示します。  
●オービスが5km以上のときは、Orbis>5kmと表示されます。



#### ④ナビゲーション表示画面

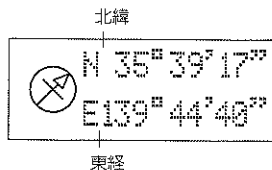


登録したアドレスの大きいナビポイントの方位、距離を表示します。  
(応用操作編P45オリジナルポイント登録参照)

#### ⑤注意

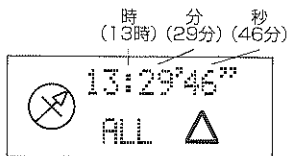
- ナビポイント登録がないときは、ナビゲーション表示画面はスキップされます。(お買い上げ時は登録されていません)
- ナビポイントが複数あるときは、MODEボタンを押す度にアドレス番号の大きい順に表示されます。この時MODEボタンを1.5秒以上長押しすると次の座標表示画面になります。

#### ⑥座標表示画面



現在位置の緯度、経度を表示します。

#### ⑦時刻表示画面



現在時、分、秒を表示します。

#### 通常動作モード時のご注意

- 走行中、トンネルなどGPS電波を受信できなくなると、画面は衛星数表示画面に自動移行します。自車位置の確定ができると再び見えていた画面に戻ります。
- 再度、電源が入ったときは、自車位置が確定時、OFFする前の画面が最初に表示されます。
- "DATA" ボタンを押しながら "MODE" ボタンを短押しすると画面が逆方向に変化します。
- コードレス使用時(ソーラー)は警報圏内に入ったり、ボタンを押したときのみ表示します。
- 画面にエラーメッセージが出た場合は、本機内部の故障ですので、販売店に修理を依頼してください。ただし "NO GPS" と表示された場合は電源スイッチを入れ直すか、充電すれば解除できる場合があります。

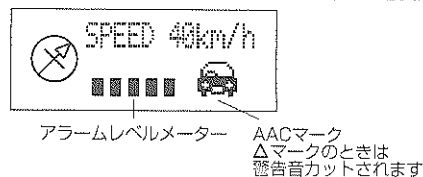
#### 3. レーダー波を受信すると

走行中レーダー波を受信した場合は、警告音およびアラームレベルメーターによりレーダー波の受信をお知らせします。レーダー波が強くなる(発信源に近づく)につれて、警告音、アラームレベルメーターが変化します。

警告音 (※1)	電波が強くなるにつれて鳴る間隔が短くなります。
アラームレベルメーター	電波が強くなるにつれて段階的にメーターの数が多くなります。電波が最強になると全体が点滅します。

(※1) 警告音は変更することができます。(応用操作編P32一般設定モード〈警告音を変更したいとき〉参照) お買い上げ時は "TONE4" に設定。

〈レーダー波を受信したときの画面表示〉…速度画面を見ている場合



#### ステルス型取り締まりについて

他の取締機と同じ電波 (xバンド) を使用していますが、事前に探知されないように、普段は電波を出さず、取り締まりのときに、短時間強い電波を放射して速度の測定をする狙い撃ち的な取り締まり方法です。このため、従来機ではステルス波の識別警報はできませんでした。

警告音 (※2)	強い電波を受信したとき鳴ります。
アラームレベルメーター	全体が点滅します。

(※2) 警告音は変更することができます。(応用操作編P32一般設定モード〈警告音を変更したいとき〉参照) お買い上げ時は "TONE5" に設定

### ご注意

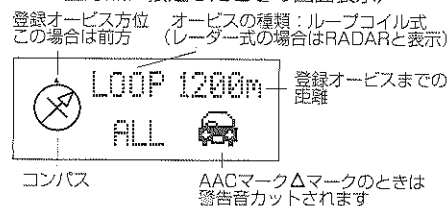
- AACマークが△のときはレーダー波を受信しても警告音はカットされます。
- コードレス使用時のレーダー波のAAC（オートアラームカット）は振動センサーで判定しますのでP42〈振動センサー感度を設定します〉を参照して設定してください。（お買い上げ時は“3”に設定してあります。）
- 本製品はステルス取り締まりに対し完全に対応するというわけではありません。先頭を走行する場合はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルスアラームが鳴る場合があります。
- 前方に走行中の車（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では電波が遮断されるため、レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。
- 電波式の自動ドア、信号機付近に設置されている車両通過計測器などは取り締まりレーダー波と同じ種類の電波が使用されています。そのため、これらの機器周辺でレーダー探知機が反応するのは避けられません。

### 4. オービス登録位置に接近すると

本製品にあらかじめ登録されているオービスに近づくと、警告音および表示（方位、距離、種類）でお知らせします。

- 時速80km/h（※1. 高速度設定）以上で登録点に近づくと…  
約1200m（※2. 高速反応距離）手前で警告音（※3）が鳴り、オービスの極近になると警告音の鳴る間隔が短くなります。
- 時速30km/h（※4. AAC速度）～80km/h未満で登録点に近づくと…  
約800m（※5. オービス反応距離）手前で警告音が鳴り、オービスの極近になると警告音の鳴る間隔が短くなります。

### 〈オービス登録点に接近したときの画面表示〉



登録点が入ると自動的に警告表示画面に変わります。画面にオービスの種類（ループコイル式／レーダー式）、登録点までの距離、方位が表示されます。

- オービスの極近になると、コンパスに重なって星マークが点滅します。

### ご注意

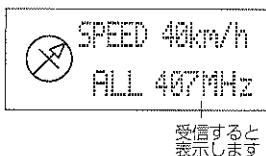
- オービス登録点の警告はGPS電波を受信していないと動作しません。（衛星数表示画面で数字が点滅のときは動作しません）  
一般にトンネル、森林の多い山間部、高層建築物の近く、高架道路の下などはGPS電波を受信しにくいことがあります。
- オービス登録点は常に最新データを登録しておりますが、諸般の事情により万一、位置ズレ、新設、廃止等による位置データの異差が生じた場合は、お手数ですが、お客様ご自身によるオリジナルポイント登録で対応していただき、安全運転されることをお願いします。
- 走行速度が30km/h未満の場合、警告音はカットされます。（AACマークが△のとき）AAC速度は変更することができます。（応用操作編P40一般設定モード〈AAC反応速度を変更したいとき〉参照）
- （※1）高速度設定は変更することができます。（応用操作編P56アドバンス設定モード〈高速度を変更したいとき〉参照）お買い上げ時は80km/hに設定。
- （※2）高速反応距離は変更することができます。（応用操作編P56アドバンス設定モード〈高速反応距離を変更したいとき〉参照）お買い上げ時は1200mに設定。
- （※3）警告音は変更することができます。（応用操作編P32一般設定モード〈警告音を変更したいとき〉参照）お買い上げ時は“MEL1（アルルの女）”に設定
- （※4）AAC速度は変更することができます。（応用操作編P40一般設定モード〈AAC反応速度を変更したいとき〉参照）お買い上げ時は30km/hに設定。

- (※5) オービス反応距離は変更することができます。(応用操作編P52アドバンス設定モード〈登録オービスの反応距離を変更したいとき〉参照) お買い上げ時は800mに設定。

## 5. カー・ロケータシステム電波を受信すると

本製品は、緊急車両(覆面パトカー、パトカー等)の接近をお知らせするカー・ロケータ受信機能が搭載されています。カー・ロケータ電波を受信すると5秒間警告音(※1)および表示でお知らせします。また、市街地走行中、頻繁に鳴る警告音を抑えるためにアラームカットタイマー(※2)を搭載しています。

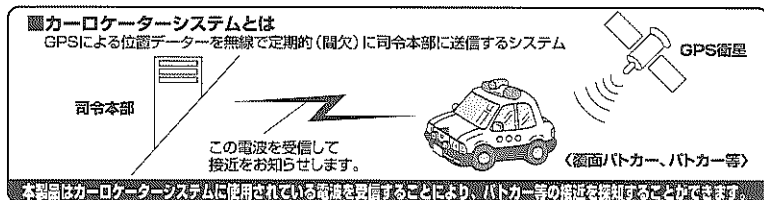
〈カー・ロケータ電波を受信したときの画面表示〉…速度画面を見ている場合



受信すると表示します

- (※1) 警告音は変更することができます。応用操作編P32一般設定モード〈警告音を変更したいとき〉参照) お買い上げ時は“MEL2 (Gメン75)”に設定
- (※2) 1度警告すると、30秒以内は再び受信しても警告音カットされます。

## カー・ロケータシステムとは



## ご注意

- カー・ロケータ電波は間欠に発射していますので、本製品は一度電波を受信すると5秒間だけ警告をするシステムとなっています。
- カー・ロケータ受信範囲は半径数百m位です。ただし、電波状況、道路状況により変動する場合があります。
- カー・ロケータシステムは全地域、全車両に導入されているわけではありませんので、注意が必要です。
- 応用操作編〈カー・ロケータシステムの動作設定〉でOFFに設定するとカー・ロケータ受信機能を停止します。お買い上げ時は“ON”に設定してあります。

## 6. 警告音の優先順位

本製品は複数の電波を同時受信した場合、警告音に優先順位を設けてあります。

警告音の優先順位は

1. オリジナルポイント登録点
2. オービス登録点
3. レーダー波
4. カー・ロケータ電波
5. 交通取締連絡波
6. 警察デジタル無線

## ご注意

- カー・ロケータ電波/交通取締連絡波/警察デジタル無線は一般設定モードで“OFF”の設定をすると受信機能は停止されます。お買い上げ時、カー・ロケータ電波以外は“OFF”に設定してあります。
- 交通取締連絡波の警告音を“VOICE”とした場合はレーダー波より優先順位が上になります。

## 7. オートミュート機能

警告音量は一定時間を経過すると音が小さくなります。

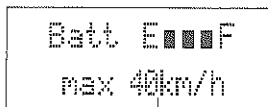
## 8. ミュート機能

- 警告音が不要になった場合は、“DATA”ボタンを短く押すと、音がカットされます。(ミュート機能)
- 警告音がカットされているとき、“DATA”ボタンを短く押すとカットが解除され、警告音が鳴ります。

## 9. ラスト速度機能

本製品は最後に通過した登録オービス手前100mの通過速度を表示できます。オービスを通過しない場合は最高速度が表示されます。

- "DATA" ボタンを短く押すとラスト速度が表示されます。



ラスト速度表示

### ご注意

- 一度電源がOFF又はオートパワーオフすると以前の情報は消えます。
- ラスト速度を確認する場合は、GPS警告/レーダー波警告音が鳴っていないときに行ってください。

## 9. 使用方法 (応用操作編)

本製品は通常動作モードの他に多彩な機能を使用できる各種動作モードがあります。各種設定の組み合わせにより、お好みのカスタム仕様が可能になります。

### 1. 各種動作モードと操作方法

〈動作モード表〉

動作モード	画面	主な動作
通常モード	衛星数表示画面	使用衛星数表示(0~12個)
	速度表示画面	走行速度表示
	オービス表示画面	現在位置から5km未満の最も近距離にあるオービス情報
	ナビゲーション表示画面	ナビポイントのアドレス、距離、方位を表示
	座標表示画面	現在位置の緯度、経度表示
一般設定モード	時刻表示画面	現在時、分、秒の表示
	音量設定画面	出力音量設定(5段階)
	オービス識別画面	高速モード/一般モード/全モード/OFFの選択
	レーダー感度設定画面	SUPER/LOCAL/OFFの設定
	警告音選択画面	サブメニューに移行、警告音の選択
	カー・ロケ帯設定画面	カー・ロケーター電波のON/OFF設定
	350.1MHz設定画面	交通取締連絡波のON/OFF設定
	デジタル無線設定画面	警察デジタル無線(160MHz帯)のON/OFF設定
	表示色選択画面	LCDバックライト色を指定(赤/緑/橙)
	AAC反応速度設定画面	AAC反応速度設定
振動センサー設定画面	振動センサー感度設定	
リセット画面	一般設定モードを全て初期状態(お買い上げ時)に戻す	
オリジナルポイント(ユーザー)設定モード	アドレス指定画面	登録アドレス指定
	属性設定画面	警報許可/警報不許可/ナビポイント/未登録の指定
	警告音選択画面	オリジナルポイントの警告音の選択
	反応距離設定画面	オリジナルポイントの反応距離設定
	緯度/経度設定画面	設定位置入力(なにもしなければ現在位置)
アドバンス設定モード	クリア画面	ユーザー登録を一括オールクリアする
	反応距離設定画面	登録オービス点の反応距離設定
	反応方位設定画面	登録オービス点の反応方位設定
	高速度設定画面	高速度設定、高速時の反応距離倍率の指定
	LCD表示方向設定画面	LCD表示のノーマル/反転の設定
セキュリティモード	警告時間設定画面	セキュリティ動作のセットアップ時間設定
	リセット画面	アドバンス設定モードを全て初期状態(お買い上げ時)に戻す
	セキュリティモード1	セキュリティ動作準備、タイムカウント開始
	セキュリティモード2	セキュリティ動作開始、ブザー警告

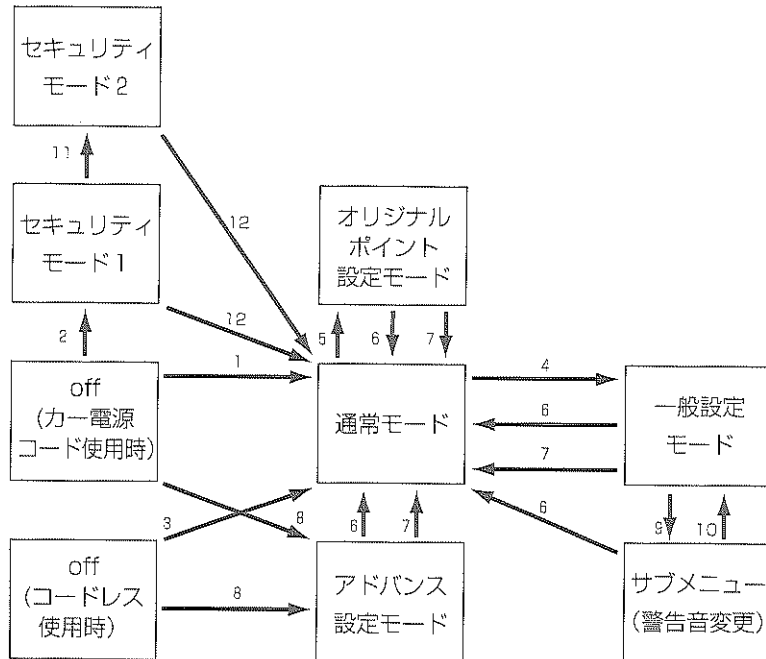
### △警告

- 設定は、必ず停車中にパーキングブレーキをかけて行ってください。

〈動作モード移行表〉

各種動作モードに移行する表です。詳しい操作方法是後述の各動作の説明を参照してください。

移行番号	操作方法（移行条件）
1	電源ON、位置ロックデータなしの場合
2	電源ON、位置ロックデータありの場合
3	振動が加わりオートパワーオン、または電源ON
4	MODEボタンを1.5秒以上長押し
5	DATAボタンを1.5秒以上長押し
6	MODEボタン又はDATAボタンを1.5秒以上長押し（設定値有効）
7	20秒間の無操作（自動移行、設定無効）
8	MODEボタン又はDATAボタンを押しながら電源ON
9	警告音変更画面時、“YES”指定でMODEボタン短押し
10	警告音設定終了画面時、“YES”指定でMODEボタン短押し
11	自車位置確定後、警告（自動移行）
12	MODEボタンとDATAボタンを同時に1.5秒以上長押し（位置ロックデータをクリア）



2. 一般設定モードの設定方法

〈音量の調節〉…音の大きさを5段階に調節できます。

1. MODEボタンを1.5秒以上押します。

2. 一般設定モードになります。

3. 音量設定画面にします。

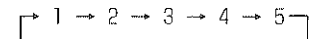


“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので音量設定画面にしてください

● “DATA” ボタンを押しながら “MODE” ボタンを短く押すと選択画面が逆方向に変化します。このとき “DATA” ボタンを1.5秒以上押してから “MODE” を押しても操作無効になり、設定が確定されてしまい通常動作モードに戻ってしまいますので、操作は速やかに行なってください。

4. 音量を設定します。

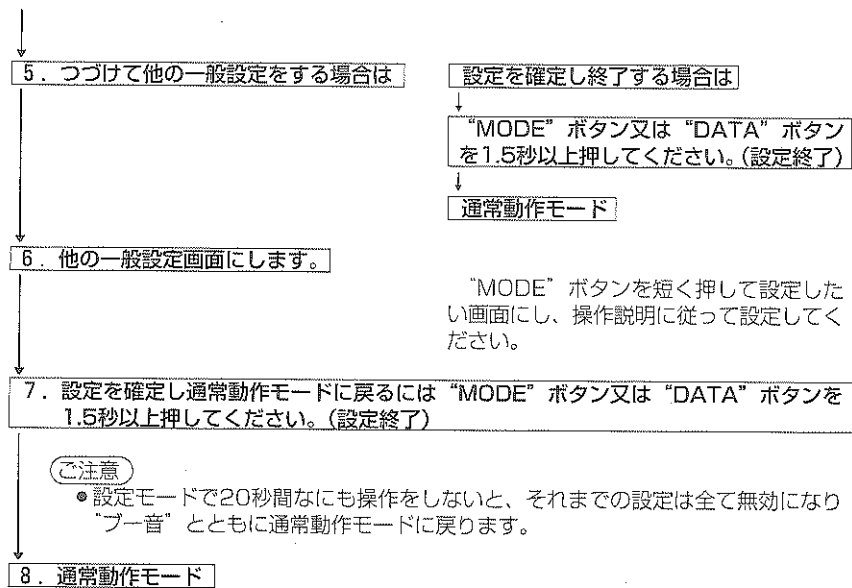
“DATA” ボタンを短く押す度に音量設定値が



と切り替えますので希望する音量値に合わせてください。

(お買い上げ時は5に設定)

● “MODE” ボタンを押しながら “DATA” ボタンを短く押すと設定値が逆方向に変化します。このとき “MODE” ボタンを1.5秒以上押してから “DATA” を押しても操作無効になり、設定が確定されてしまい通常動作モードに戻ってしまいますので、操作は速やかに行なってください。

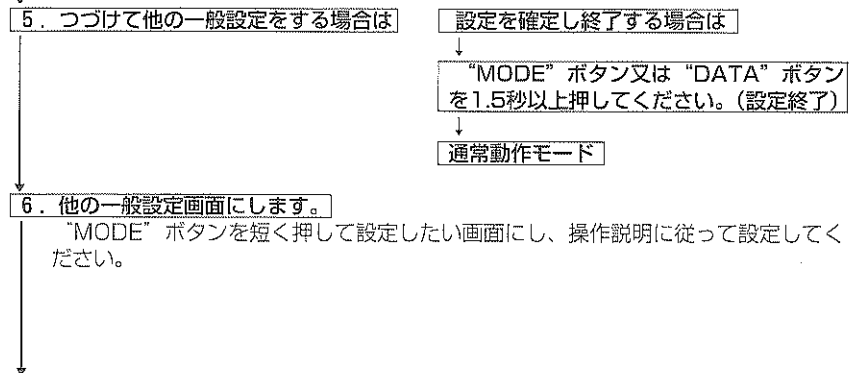
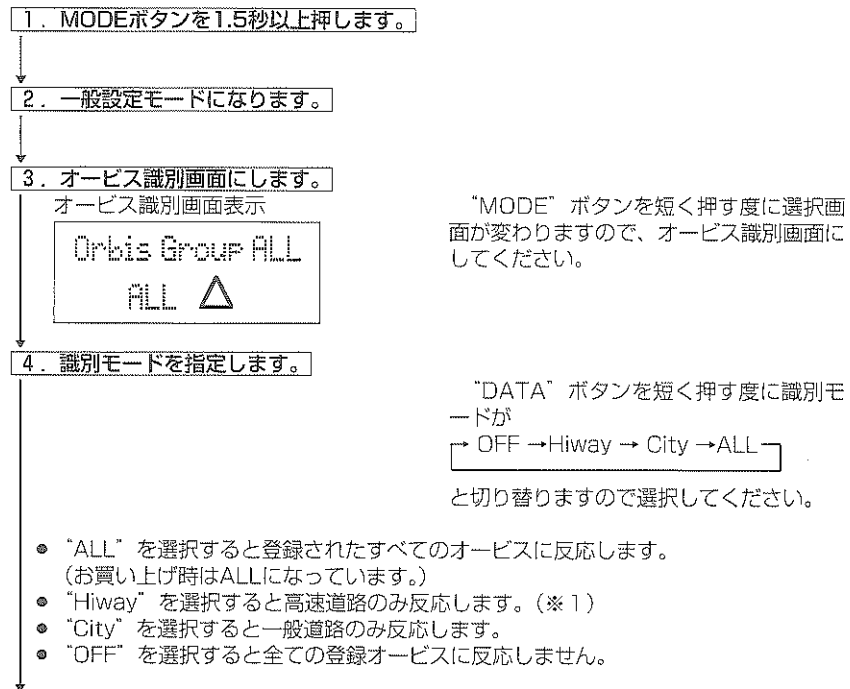


ご注意

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

＜登録オービスの一般道と高速道路を識別したいとき＞

本製品はあらかじめオービスポイントが登録されていますが、(全ポイント反応する／高速道路のみ反応する／一般道のみ反応する／全く反応しない)の4つのモードを選択できますので、オービスを識別して不要な警告をカットすることができます。





7. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE”ボタン又は“DATA”ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

**ご注意**

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

**8. 通常動作モード**

(※1) 本製品では高速道路の指定を下記としてあります。

道央自動車道	北陸自動車道
東北自動車道	東名阪自動車道
秋田自動車道	名神高速道路
山形自動車道	近畿自動車道
常磐自動車道	阪和自動車道
館山自動車道	阪神高速道路
千葉東金道路	第2神明加古川バイパス
東関東自動車道	神戸淡路鳴戸自動車道
関越自動車道	中国自動車道
上信越自動車道	山陽自動車道
首都高速道路	米子自動車道
第三京浜道路	浜田自動車道
横浜横須賀道路	高松自動車道
東京外環自動車道	松山自動車道
中央自動車道	福岡都市高速
長野自動車道	九州自動車道
東名高速道路	大分自動車道
東海北陸自動車道	長崎自動車道
名古屋高速道路	宮崎自動車道
南知多道路	沖縄自動車道
能登有料道路	

**ご注意**

オービス識別画面で高速道路のみ Hiway を選択した場合、(P56) 高速度設定スピード未満のときはGPSによる警告はカットされますので注意してください。(お買い上げ時は80km/hに設定されていますので80km/h未満走行ではGPS警告音はカットされます)  
但し、AAC反応速度を0km/hとしたときは設定速度に関係なく反応します。

<レーダー受信感度を設定します>…受信感度を2段階に調節できます。

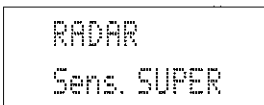
受信感度はLOCAL/SUPER/OFFの3ポジションあり、走行状況にあわせ選択してください。

1. MODEボタンを1.5秒以上押します。

2. 一般設定モードになります。

3. レーダー感度設定画面にします。

レーダー感度設定画面表示



“MODE”ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、レーダー感度設定画面にしてください。

4. 受信感度の設定をします。

“DATA”ボタンを短く押す度に受信感度表示が

→SUPER→LOCAL→OFF

と変化しますので、希望する感度に設定してください。

- SUPERを選択するとアラーム感度が高くなります。(お買い上げ時はSUPERに設定してあります。)
- LOCALを選択するとアラーム感度が低くなります。(市街地走行に適しています)
- OFFを選択するとレーダー受信機能が停止しますので注意が必要です。

5. つづけて他の一般設定をする場合は

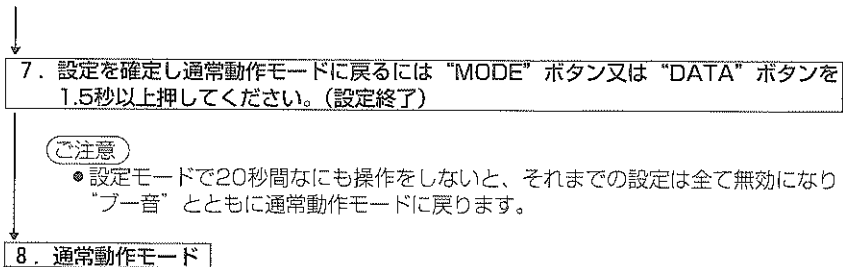
設定を確定し終了する場合は

“MODE”ボタン又は“DATA”ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

通常動作モード

6. 他の一般設定画面にします。

“MODE”ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。



＜警告音を変更したいとき＞

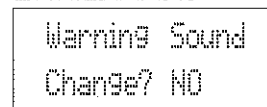
警告音は13種類の中から選択することができます。  
 (交通取り締まり連絡波は音声受信の選択もできます)

1. MODEボタンを1.5秒以上押します。

2. 一般設定モードになります。

3. 警告音選択画面にします。

警告音選択画面表示



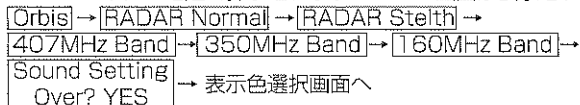
“MODE”ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、警告音選択画面にしてください。

4. “YES”を選択してください。

“DATA”ボタンを短く押す度に YES↔NOが切り替わりますので YESを選択してください。

5. 変更したい受信の種類を指定してください。

“MODE”ボタンを短く押すと、サブメニュー画面が表示されます。



- Orbis：登録済のオービス点の警告音
- RADAR Normal：レーダー波（通常）の警告音
- RADAR Stelth：レーダー波（ステルス）の警告音
- 407MHz Band：カー・ロケータ電波の警告音
- 350MHz Band：交通取締連絡波の警告音
- 160MHz Band：警察デジタル無線の警告音
- Sound Setting Over? YES：ここでMODEボタンを押すと次の一般設定モードの表示色選択画面に進みますので元に戻りたい場合は“DATA”ボタンで“NO”を選択しMODEボタンを押してください。

6. 警告音を選択してください。

警告音は13種類ありますので“DATA”ボタンで選択してください。下表を参考にしてください。(交通取締連絡波は音声受信 (VOICE) の選択ができます。)

表示	受信の種類 警告音	受信の種類					
		オービス登録点	リーダー波(通常)	リーダー波(ステルス)	カー・ロケータ電波	交通取締連絡波	警察デジタル無線
M E L 1	メロディ1 (アルルの女)	◎	○	○	○	○	○
M E L 2	メロディ2 (Gメン75)	○	○	○	◎	○	○
R I N G 1	リング1	○	○	○	○	○	○
R I N G 2	リング2	○	○	○	○	○	○
R I N G 3	リング3	○	○	○	○	○	○
B E L L 1	DTMF1	○	○	○	○	◎	○
B E L L 2	DTMF2	○	○	○	○	○	◎
B E L L 3	DTMF3	○	○	○	○	○	○
T O N E 1	TONE1	○	○	○	○	○	○
T O N E 2	TONE2	○	○	○	○	○	○
T O N E 3	TONE3	○	○	○	○	○	○
T O N E 4	TONE4	○	◎	○	○	○	○
T O N E 5	TONE5	○	○	◎	○	○	○
V O I C E	交信生音声	×	×	×	×	○	×

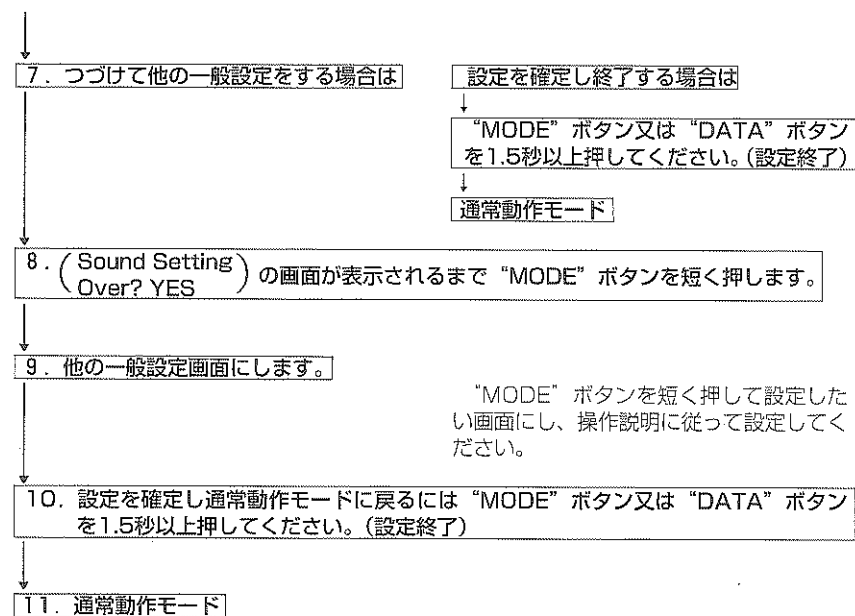
◎はお買い上げ時の設定です。

**ご注意**

- オリジナルポイントの警告音の変更は設定時に行いますので、ここでは変更できません。

× モ

- 変更したい警告音が複数ある場合は④④を繰り返し行ってください

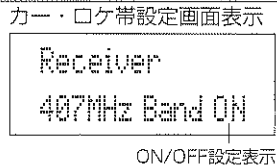


〈カー・ロケーターシステムの動作設定をします〉…受信機能のON/OFF設定をします  
本製品は、緊急車両（覆面パトカー、パトカー等）の接近をお知らせするカー・ロケ帯受信機が搭載されています。受信機能のON/OFFを設定できます。

1. MODEボタンを1.5秒以上押します。

2. 一般設定モードになります。

3. カー・ロケ帯設定画面にします。



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、カー・ロケ帯設定画面にしてください。

4. ON/OFFを設定をします。

“DATA” ボタンを短く押す度に ON↔OFFが切り替わりますので、指定してください。

- “ON” にすると受信機能が働きます。  
（お買い上げ時はONに設定）
- “OFF” にすると受信機能は停止します。

5. つづけて他の一般設定をする場合は

設定を確認し終了する場合は

“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。（設定終了）

通常動作モード

6. 他の一般設定画面にします。

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

7. 設定を確認し通常動作モードに戻るには“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。（設定終了）

ご注意

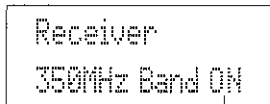
- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。
- 受信機能をONにすると、コードレスで使用時、電池の消耗が早くなります。

8. 通常動作モード

〈交通取締連絡波の動作設定をします〉…受信機能のON/OFF設定をします。

本製品は、交通取締連絡波の受信機能が搭載されています。  
受信機能のON/OFFを設定できます。

- 設定方法は前述のカー・ロケータシステムと同様に、一般設定モードにし、350.1MHz設定画面にします。

A rectangular display box with a black border. The text inside is arranged in two lines: "Receiver" on the top line and "350MHz Band ON" on the bottom line.

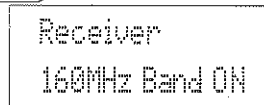
ON/OFF設定表示

- “ON” にすると受信機能が働きます。受信すると警告音とともに“350.1MHz”の表示がでます。
- “OFF” にすると受信機能は停止します。  
(お買い上げ時はOFFに設定)
- 設定を確定し、終了する場合や、つづけて他の一般設定をする場合も前述と同様です。
- 受信機能をONにすると、コードレスで使用時、電池の消耗が早くなります。

〈警察デジタル無線の動作設定をします〉…受信機能のON/OFF設定をします。

本製品は、警察デジタル無線(160MHz帯)の受信機能が搭載されています。  
受信機能のON/OFFを設定できます。

- ◇注意◇ コードレス使用時は受信機能は常時停止します。設定画面も出ません。

A rectangular display box with a black border. The text inside is arranged in two lines: "Receiver" on the top line and "160MHz Band ON" on the bottom line.

ON/OFF設定表示

- 設定方法は前述と同様に、一般設定モードにし、デジタル無線設定画面にします。
- “ON” にすると受信機能が働きます。受信すると警告音とともに“160MHz”の表示がでます。
- “OFF” にすると受信機能は停止します。  
(お買い上げ時はOFFに設定)
- 設定を確定し、終了する場合や、つづけて他の一般設定をする場合も前述と同様です。

＜ディスプレイのバックライト色を変更したいとき＞

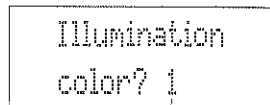
LCDディスプレイのバックライト色を赤／緑／橙の3種類の中から選択することができます。

1. MODEボタンを1.5秒以上押します。

2. 一般設定モードになります。

3. 表示色選択画面にします。

表示色選択画面表示



バックライト設定表示

“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、表示色選択画面にしてください。

4. バックライトの色指定します。

“DATA” ボタンを短く押す度にバックライト設定表示が1（緑）／2（赤）／3（橙）と切り替わりますので、指定してください。●お買い上げ時は緑に設定

5. つづけて他の一般設定をする場合は

設定を確定し終了する場合は

“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。（設定終了）

通常動作モード

6. 他の一般設定画面にします。

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

7. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。（設定終了）

【ご注意】

●設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

8. 通常動作モード

＜AAC（オートアラームカット）の反応速度を変更したいとき＞

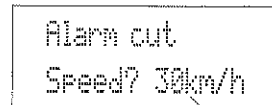
本製品は低速走行、停車時に警告音をカットするAAC（オートアラームカット）を有しています。また速度設定も0 km/h～80km/hまで可変することができます。

1. MODEボタンを1.5秒以上押します。

2. 一般設定モードになります。

3. AAC反応速度設定画面にします。

AAC反応速度設定画面表示



速度表示

“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、AAC反応速度設定画面にしてください。

4. 速度の設定をします。

“DATA” ボタンを短く押す度に速度表示が10km/h単位で0～80km/hまで変化しますので、設定したい速度に合わせます。  
●お買い上げ時は30km/hに設定

5. つづけて他の一般設定をする場合は

設定を確定し終了する場合は

“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。（設定終了）

通常動作モード

6. 他の一般設定画面にします。

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

7. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。（設定終了）

【ご注意】

●設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

## 8. 通常動作モード

### ● AACの動作確認

#### (1) GPS測位（自車位置確定）時は…

AAC設定速度未満のとき警告音はカットされ、AACマークが△になります。  
AAC設定速度以上になるとAACマークが●になり、警告音はカットされません。

#### (2) GPS未測位（衛星数表示が点滅）時は…

GPS電波を受信できないときは、自動的に振動センサーに切り替り、車の振動により、走行、停車を判別し警告音をカットします。  
あらかじめ、振動センサーの設定をする必要があります。設定方法はP42〈振動センサーの感度を設定します〉を参照してください。

### ◇注意

- コードレス使用時では、GPSによる反応圏内にならないと、AAC反応速度の設定が有効となりません。

〈振動センサー感度を設定します〉…4段階の設定ができます。

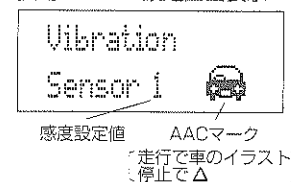
本製品は低速走行時に警告音をカットするAAC（オートアラームカット）を有していますが、GPS電波を受信できない場合は自動的に振動センサーに切り替え車の振動を感知し、走行、停車を判別します。車の振動に応じて振動センサーの感度を設定してください。また、コードレス使用の場合もレーダーのAACは振動センサーで判定します。

### 1. MODEボタンを1.5秒以上押します。

### 2. 一般設定モードになります。

### 3. 振動センサー設定画面にします。

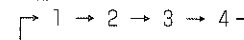
振動センサー設定画面表示



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、振動センサー設定画面にしてください。

### 4. 感度の設定をします。

“DATA” ボタンを短く押す度に感度設定値が



と切り替わりますので設定してください。  
●感度は数値が大きくなると“低く”なりますので注意してください。  
(お買い上げ時は“3”に設定)

### 5. 振動センサーの動作確認

- ① エンジンを始動し、車をアイドリング状態にします。  
AACマークが△になっていることを確認してください。

- ② 車を走行させます。  
AACマークが△から車のイラストに変わることを確認してください。

※正常に動作しない場合は振動センサーの感度を変更してください。  
※走行しても車のイラストに変わらない場合は感度を高く（設定値を小さく）してください。  
※アイドリング状態で△マークにならない場合は感度を低く（設定値を大きく）してください。

**ご注意**

- 振動センサー感度を変更しても正常に動作しないときは本製品の取り付け場所を変えてください。
- 車によっては正常に動作しない場合があります。コードレス使用時で停車時、AACマークが△にならないとオートパワーオフできなくなり、バッテリーあがりの原因になりますので、長時間停車する場合は電源スイッチを切ってください。
- 設定～動作確認で40秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻りますので注意してください。

6. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE”ボタン又は“DATA”ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

7. 通常動作モード

※つづけて他の一般設定をする場合は前述の方法で操作してください。

**＜一般設定モードを全て初期状態にもどす＞**

一般設定モードを初期状態（お買い上げ時）に戻すことができます。

1. MODEボタンを1.5秒以上押します。

2. 一般設定モードになります。

3. リセット画面にします。

リセット画面表示  
Setting Data  
Reset? YES

リセット選択表示

“MODE”ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、リセット画面にしてください。

4. リセット（初期状態）します。

“DATA”ボタンを短く押す度にリセット選択表示が、YES⇄NOと切り替わりますので、リセットする場合はYESを指定してください。

5. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE”ボタン又は“DATA”ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

**ご注意**

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

6. 通常動作モード（リセット完了）



### 3. オリジナルポイント（ユーザー）設定モードの設定方法

本製品はあらかじめ登録してあるオービス位置の他に70ポイント任意に登録することができます。新設等で本製品に入力されていないオービス位置や目的地登録をすれば、あなただけのオリジナルポイントがメモリーできます。

また、登録点は警告音の“ON”“OFF”を設定できます。警告音“ON”設定の場合は、13種類の警告音の中から選択することができます。警告音“OFF”設定の場合はレーダー波もカットしますので、自動ドア等の不要な電波も完全キャンセルできます。さらに“ナビポイント登録”すれば目的地まで誘導してくれる簡易ナビゲーションとしても使用できます。

1. DATAボタンを1.5秒以上押します。

2. オリジナルポイント設定モードになります。

オリジナルポイント設定画面表示  
アドレス番号

Address 01  
no ENTRY

属性表示

3. 登録アドレスを指定します。

“DATA”ボタンを短く押して登録する場所を決めます。

“DATA”ボタンを押す度に点滅しているアドレス番号が01～70まで変化しますので登録する場所を決めてください。

- メモ
- 登録済みのメモリーがある時は、未登録のアドレス番号の内、最も若い番号を表示します。
  - “MODE”ボタンを押しながら“DATA”ボタンを短く押すと逆方向に変化します。

4. 属性表示にします。

“MODE”ボタンを短く押すとアドレス番号の下の属性表示が点滅します。

ここで登録点の警告音の“ON”“OFF”“ナビポイント”“未登録”を決めます。

5. 属性を設定します。

“DATA”ボタンを短く押す度に属性表示が、

→NO ENTRY →SOUND ON →  
→SOUND OFF →NAVI POINT

と切り替わりますので選択してください。

- NO ENTRYを選択すると未登録の指定になります。  
〈登録済のメモリーを個別消去したい場合はここを選択して“MODE”ボタン又は“DATA”ボタンを1.5秒以上押して設定モードを終了してください〉
- SOUND ONを選択すると登録ポイントで警告音を発します。
- SOUND OFFを選択すると登録ポイントで警告音がカットされます。  
〈自動ドア等の不要電波をキャンセルする場合に便利です〉
- NAVI POINTを選択すると登録点まで誘導してくれるナビゲーションシステムになります。

6. MODEボタンを短く押します。

7. SOUND ON  
を選択した場合は

- 警告音選択表示になります。

Address 01  
Sound RING 1

警告音選択表示

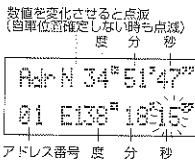
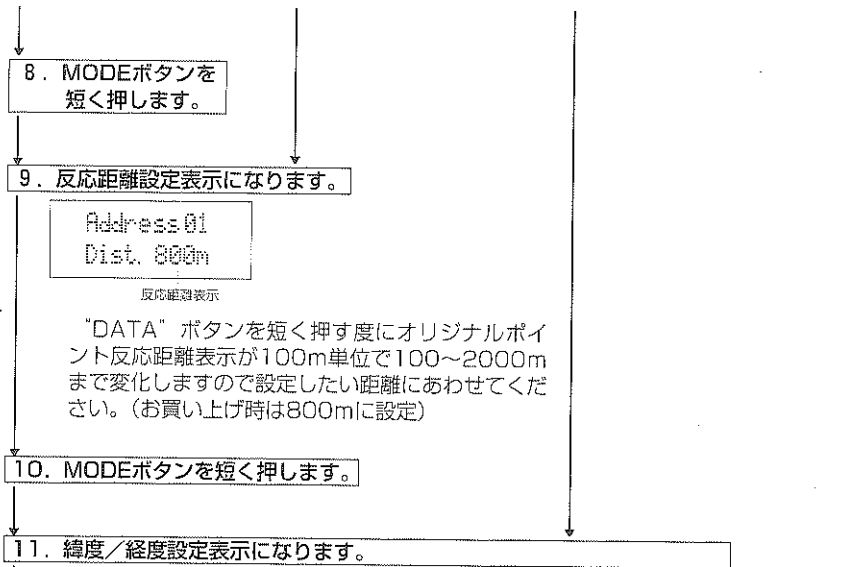
“DATA”ボタンを短く押す度に警告音選択表示が変化しますので選択して下さい。警告音は13種類あります。（お買い上げ時は“RING1”に設定）

●SOUND OFF  
を選択した場合は

- ご注意
- SOUND OFFを選択した場合は反応距離設定表示になります。

●NAVI POINTを  
選択した場合は

- ご注意
- NAVI POINTを選択した場合は緯度／経度設定表示になります。

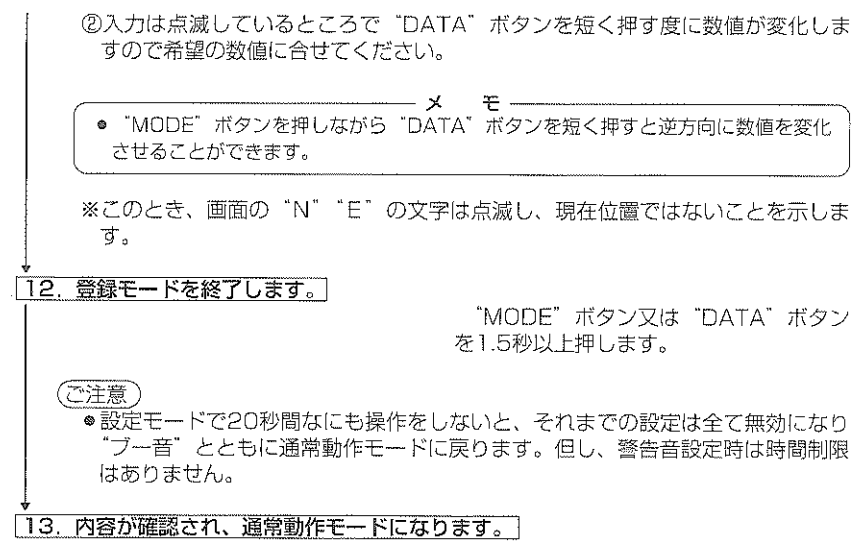


- (1) 自車位置が確定している時で、現在位置を登録する場合は…  
“N (北緯)” と “E (東経)” の表示が点灯していることを確認してオリジナルポイント設定モードを終了します。(NとEが点灯していれば現在位置です)
- (2) “N (北緯)” と “E (東経)” があらかじめわかっている場合は…  
自車位置の確定の有無にかかわらず、どこでも登録できます。

- 緯度、経度入力による登録方法
- ① “MODE” ボタンを短く押す度にN (北緯) “度” → “分” → “秒” E (東経) の “度” → “分” → “秒” の順で変化しますので順番に入力してください。

— × モ —

● “DATA” ボタンを押しながら “MODE” ボタンを短く押すと逆方向に変化させることができます。



〈登録した内容を全てクリアしたいときは〉…初期状態に戻します。

登録した内容を全て消去することができます。

- 未登録の場合はクリア画面は表示されません。

1. DATAボタンを1.5秒以上押します。

2. オリジナルポイント設定モードになります。

オリジナルポイント設定画面表示

Address 06  
no ENTRY

3. クリア画面にします。

User Points  
All Clear? YES

クリア設定表示

“MODE” ボタンを短く押していくとクリア画面になります。

4. 内容をクリアします。

“DATA” ボタンを短く押す度にクリア設定表示がNO↔YESと変わりますのでクリアする場合は、“YES”を指定してください。

- クリアを中止する場合はNOを選択するか、20秒間なにも操作をしないでください。

5. クリアを確認し、終了します。

“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押します。

【ご注意】

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

6. 通常動作モード

〈オリジナルポイント登録位置に接近すると〉

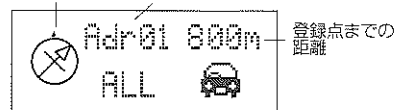
オリジナルポイント登録をした地点に近づくと、警告音および表示（方位、距離、アドレス）でお知らせします。

- 高速度設定（※1）以上で登録点に近づくと…  
高速反応距離（※2）から警告音が鳴り、登録点の極近になると警告音が鳴る間隔が短くなります。
- AAC反応速度～高速度設定未満で登録点が近づくと…  
オリジナルポイント反応距離から警告音が鳴り、登録点の極近になると警告音の鳴る間隔が短くなります。

〈登録位置に接近したときの画面表示〉

登録点が反応距離範囲に入ると自動的に警告表示画面に変わります。

登録点の方向  
この場合は前方 登録点のアドレス表示



- 登録点の極近になるとコンパスに重なって円マークが小→大の動きをします。

【ご注意】

- 登録点の警告はGPS電波を受信していないと動作しません。（衛星数表示画面で数字が点滅のとき）
- 走行速度がAAC反応速度未満の場合警告音はカットされます。AAC反応速度の設定方法はP40〈AAC反応速度を変更したいとき〉参照
- （※1）高速度設定はP56アドバンス設定モード、高速度設定参照。
- （※2）高速反応距離はオリジナルポイント反応距離に高速反応距離乗率を乗じた距離です。高速度設定以上で走行したときの反応距離です。P56アドバンス設定モード、反応距離乗率の設定参照

〈設定速度と反応距離の関係〉

- 高速度を80km/hに設定
  - オリジナルポイント反応距離を800mに設定
  - 高速反応距離乗率を1.5に設定
- （お買い上げ時の設定）

上記設定条件では

高速反応距離=800×1.5=1200m

- 80km/h以上で登録点に近づくと1200m手前から反応、警告
- 80km/h未満で登録点に近づくと800m手前から反応、警告となります。

## 〈ナビポイントの使い方〉…目的地まで誘導するナビゲーションシステム

属性設定で“NAVI POINT”を設定した場合の使用方法

### 1. 通常動作モード時にナビゲーション表示画面にします。

- MODEボタンを短く押す度に、画面が変わりますので、下図のナビゲーション表示画面にしてください。

ナビゲーション表示画面

ナビポイントの方向

この場合は前方



- MODE登録点の極近になるとコンパスに重なって円マークが小→大の動きをします。

### 2. ナビポイントが複数登録してある場合は、再度“MODE”ボタンを短く押すとアドレス番号の大きい順に表示されます。

### 3. 目的のナビポイントを指定してください。

#### ◇注意

- ナビポイント登録がないときは、ナビゲーション表示画面はスキップされます。
- ナビポイントが複数登録してある場合、通常登録モードの他の画面に移行したいときは、“MODE”ボタンを1.5秒以上押してください。
- ナビポイントの距離計算は、簡易計算により直線距離を算出しているので距離が長いと誤差ができます。数キロ以内の近距離では誤差は無視できます。
- GPSによるオービス登録点やオリジナルポイントに接近すると自動的に警告画面に変わります。

## 4. アドバンス設定モードの設定方法

本製品は一般設定モード、オリジナルポイント設定モードだけでなく、さらにオリジナルな設定ができるアドバンス設定モードがあります。一般設定、オリジナルポイント設定と組み合わせて使用すれば、あなたのドライブスタイルに合わせたカスタム仕様のレーダー探知機が誕生します。

〈登録オービスの反応距離を変更したいとき〉

本製品にあらかじめ登録されているオービス点の反応距離を変えることができます。

### 1. アドバンス設定モードにします。

“DATA”ボタン又は“MODE”ボタンを押しながら電源を入れます。

### 2. アドバンス設定モードになり、オービス反応距離設定画面が表示されます。

オービス反応距離設定画面表示

Orbis Catching  
Dist. 800m

### 3. 反応距離を設定します。

“DATA”ボタンを短く押す度に反応距離が100m単位で400m～200mまで変化しますので、設定したい距離に合わせてください。(お買い上げ時は800mに設定)

#### メモ

- “MODE”ボタンを押しながら“DATA”ボタンを短く押すと設定値が逆方向に変化します。

### 4. つづけて他のアドバンス設定をする場合は

設定を確定し終了する場合は

“MODE”ボタン又は“DATA”ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

通常動作モード

### 5. 他のアドバンス設定をします。

“MODE”ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

6. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE”ボタン又は“DATA”ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

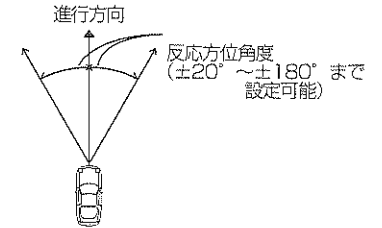
【ご注意】

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

7. 通常動作モード

〈登録オービスの反応方位を変更したいとき〉

本製品は登録オービス点の反応方位を設定することができます。方位角度を狭くすれば対向車線のオービスや、直交する道路沿いにあるオービスに対し反応しにくくなります。上下線オービスの識別が可能になります。

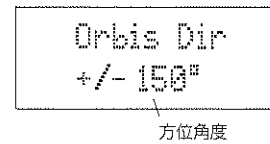


1. アドバンス設定モードにします。

“DATA”ボタン又は“MODE”ボタンを押しながら電源を入れます。

2. オービス反応方位設定画面にします。

オービス反応方位設定画面表示



“MODE”ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますのでオービス反応方位画面にしてください。

- “DATA”ボタンを押しながら“MODE”ボタンを短く押すと画面は逆方向に変化します。

3. 方位角度を設定します。

“DATA”ボタンを短く押す度に方位角度が10度単位で $\pm 20^\circ \sim \pm 180^\circ$ まで変化しますので、設定してください。(お買い上げ時は $\pm 70^\circ$ に設定)

【ご注意】

- 高速道路等のカーブの少ない道路では方位角度を狭くすることにより、不要なオービスに反応しなくなりますが、カーブが多い道路などでは至近距離までオービスに反応しない場合がありますので注意が必要です。

4. つづけて他のアドバンス設定をする場合は

設定を確定し終了する場合は

“MODE”ボタン又は“DATA”ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

通常動作モード

5. 他のアドバンス設定をします。

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

6. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

**ご注意**

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

7. 通常動作モード

〈高速反応距離とその速度を変更したいとき〉

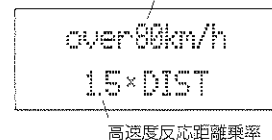
高速反応距離とは高速度設定以上のスピードで走行したときの反応距離です。前述のオリジナルポイント反応距離や、オービス反応距離に高速反応乗率を乗じた距離です。設定速度と反応距離乗率を変えることにより、GPS警告の反応を早くしたり遅くしたりできます。

1. アドバンス設定モードにします。

“DATA” ボタン又は“MODE” ボタンを押しながら電源を入れます。

2. 高速度設定画面にします。

高速度設定画面表示  
高速度設定



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、高速度設定画面にしてください。

3. 高速度設定をします。

“DATA” ボタンを短く押す度に高速度設定表示が10km/h単位でAAC反応速度～200km/hまで変化しますので、設定したい速度に合わせてください。(お買い上げ時は80km/hに設定)

4. MODEボタンを短く押します。

高速度反応距離乗率が点滅します。

5. 高速度反応距離乗率を指定します。

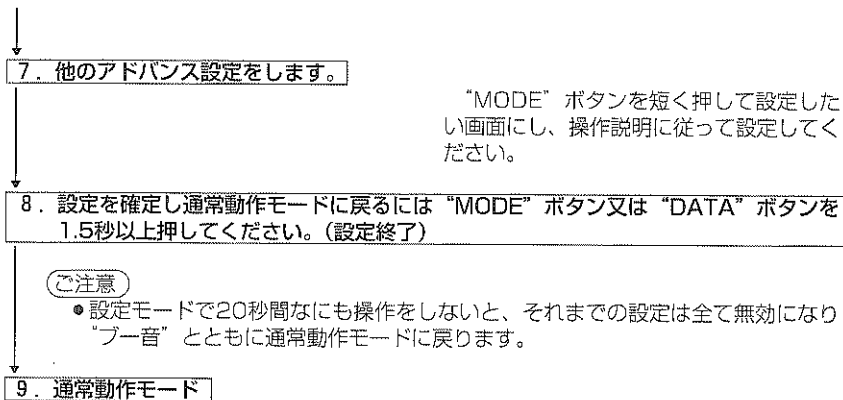
“DATA” ボタンを短く押す度に高速反応距離乗率が0.1単位で1.0～2.0に変化しますので、希望する数値に設定します。(お買い上げ時は1.5に設定)

6. つづけて他のアドバンス設定をする場合は

設定を確定し終了する場合は

“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

通常動作モード



＜設定速度と反応距離の関係は＞

登録点	走行速度	
	高速度設定以上	設定値未満
オービス登録点	オービス反応距離×高速反応距離乗率	オービス反応距離
オリジナルポイント登録点	オリジナルポイント×高速反応距離乗率	オリジナルポイント反応距離

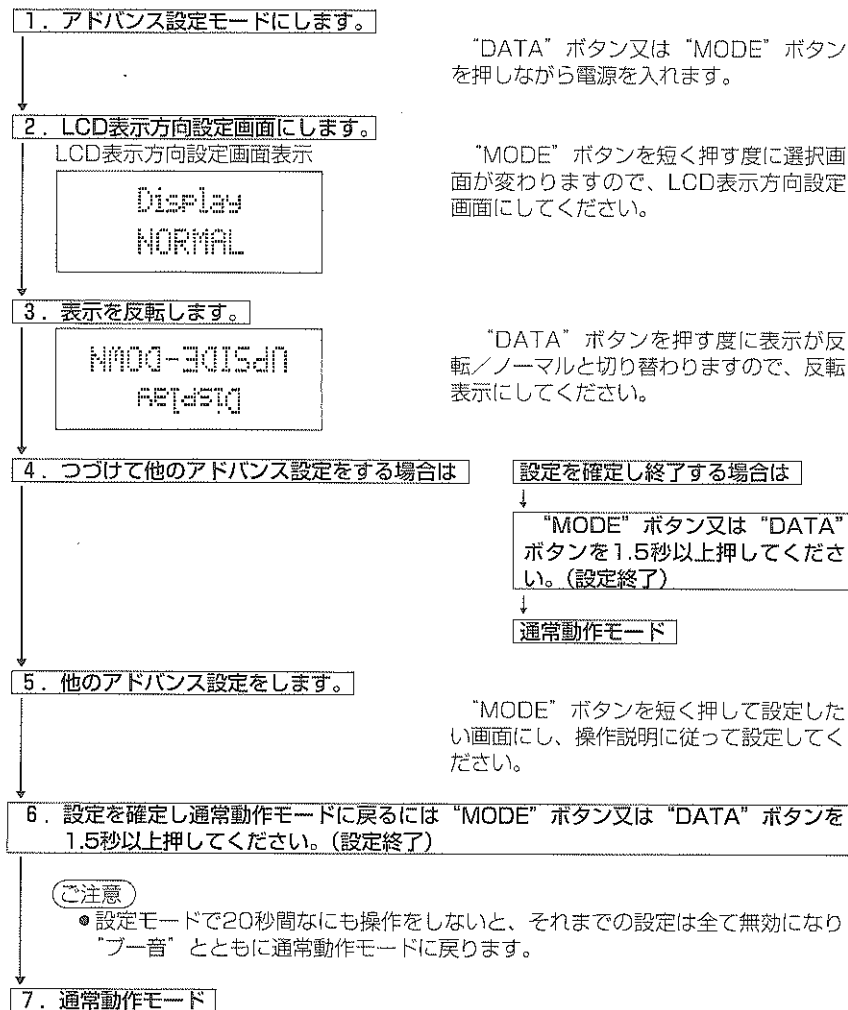
- (例)
- ・オービス反応距離1000mに設定
  - ・高速度を90km/hに設定
  - ・高速反応距離乗率を1.2に設定

上記設定条件では

$$\text{高速反応距離} = 1000 \times 1.2 = 1200\text{m}$$

- 90km/h以上で登録点に近づくと1200m手前から反応、警告
- 90km/h未満で登録点に近づくと1000m手前から反応、警告

＜サンバイザー取付時、LCD表示を反転したいときは＞  
サンバイザーに取り付ける場合、LCD表示を反転することができます。



〈セキュリティ動作の開始時間を変更したいとき〉

本製品はGPS測位機能を利用して、車の位置が変化したときに警告を発するセキュリティモードを搭載しています。

ここでの設定は位置データに変化があった場合、警告を発する時間を決めます。(セキュリティモードの操作方法はP62セキュリティモードの設定と警告方法参照)

1. アドバンス設定モードにします。

“DATA” ボタン又は“MODE” ボタンを押しながら電源を入れます。

2. 警報時間設定画面にします。

警報時間設定画面

Security  
SetupT. 30sec

セットアップ時間

“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、警報時間設定画面にしてください。

3. セットアップ時間を指定します。

“DATA” ボタンを短く押す度にセットアップ時間が10秒～100秒まで変化しますので、希望する時間にセットします。(お買い上げ時は30秒に設定)

4. つづけて他のアドバンス設定をする場合は

設定を確定し終了する場合は

“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

通常動作モード

5. 他のアドバンス設定をします。

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

6. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

ご注意

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

↓  
7. 通常動作モード



〈アドバンス設定モードを全て初期状態にもどす〉

アドバンス設定モードを初期状態（お買い上げ時）に戻すことができます。

1. アドバンス設定モードにします。

“DATA” ボタン又は“MODE” ボタンを押しながら電源を入れます。

2. リセット画面にします。



リセット選択表示

“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、リセット画面にしてください。

【ご注意】

- すでに初期状態になっているときはリセット画面は表示されません。

3. リセット（初期状態）します。

“DATA” ボタンを短く押す度に NO↔YESが切り替わりますので、リセットする場合は“YES”を指定してください。

4. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。（設定終了）

【ご注意】

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり“ブー音”とともに通常動作モードに戻ります。

5. 通常動作モード（リセット完了）

5. セキュリティモードの設定と警告方法

本製品はGPS測位機能を利用して、車の位置が変化したときに警告を発するセキュリティモードを搭載しています。

（コードレス使用時はセキュリティモード機能は働きません）

〈使用方法及び動作確認〉

1. 位置ロックの設定をします。

“DATA” ボタンと“MODE” ボタンを同時に1.5秒以上押します。

- 位置ロックとは基準となる位置データを入力することです。GPSにより自車位置が確定しているときは現在地が位置データとして入力、記憶されます。自車位置が確定していないときは最後に確定された位置が入力、記憶されます。

2. セキュリティマークが点灯し、位置がロックされます。

位置ロック設定画面表示



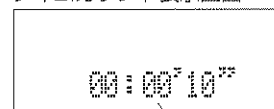
セキュリティ・マーク

3. 電源をOFFにします。

電源スイッチONのままエンジンを切ります。（セキュリティ待機状態に入ります。）

4. 再度電源が入ると（エンジンを始動すると）画面がタイムカウント表示になり、警告動作の準備に入ります。（セキュリティモード1）

タイムカウント表示画面



タイムカウント表示

5. セキュリティ動作の開始時間になったときの位置が最初設定した位置ロックデータと変化しているとブザー音で警告をします。(セキュリティモード2)

#### 注意

- セキュリティ動作時間は変更することができます。P59〈セキュリティ動作の開始時間を変更したいとき〉参照。(お買い上げ時は30秒にセットされています。)
- GPS測位(自車位置確定)が開始時間内であればその時間で、開始時間外であれば測位後すぐに警告を発します。
- 警告音は30秒で停止します。但し、警告音が停止した位置から更に車が移動すると再び警告音が鳴ります。
- 位置ロックデータと測位後の位置ズレが50m以上ないと警告を発しません。(但し、GPS衛星の補足数等により多少バラツキはあります。)

〈セキュリティモードを解除するには〉

“MODE” ボタンと “DATA” ボタンを同時に1.5秒以上押します。

## 10. 使用上のご注意

- 本製品はGPS電波が受信可能な場所に設置して下さい。また地理的状況などにより、GPS電波を受信しにくい時や、受信できない場所があります。(トンネルの中、高層ビルに囲まれた場所、高い樹木に囲まれた場所、2～3層の構造の道路の下など)
- オービスやオリジナルポイントの登録位置はいつも同位置を正確に再現するとは限りません。衛星軌道が時々刻々変化する事も影響し、測位日時により、20～30mのズレ(誤差)が生ずる事があります。
- コードレスで使用する場合は、太陽光がよく当たるように、心がけてください。
- 本製品はレーダー波を使用していないオービス取り締まり機(ループコイル式、LHシステム、光電管式)をGPS測位機能で検知、警告します。GPS電波を受信できない状況下では、レーダー探知機部、レーザー部だけの機能となります。
- 金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車はGPS電波を受信しにくい場合があります。
- オービス登録点は常に最新データを登録しておりますが、諸般の事情により万一、位置ズレ、新設・廃止等による位置データの異差が生じた場合は、お手数ですが、お客様ご自身によるオリジナルポイント登録で対応していただき、安全運転されることをお願い申し上げます。
- GPSレーザーは非常に精密な部品によって構成されています。本体の熱が上昇すると最初の衛星が捕捉しにくくなり、自車位置確定に時間がかかります。場合によっては故障することもありますので、真夏など停車中にセットの温度が上昇する事が予想される場合は断熱シートをかぶせたり、温度の上がりにくい場所に本製品を移動してください。
- 本製品は電源をOFFとしてもGPS衛星軌道情報やラスト位置等がバックアップされません。次に電源をONとする場所がラスト位置と大きく異なると衛星捕捉に時間がかかり、自車位置確定までに時間がかかります。したがって、電源がOFFのまま、車両を移動することは好ましくありません。
- 衛星数表示画面で衛星数が点滅している状態で高速走行をすると自車位置確定までに時間がかかる場合があります。衛星数が点灯しない場合は一度車を停車して衛星数が点灯してから走行してください。
- 高速道路上に設置されているオービスの側道等を走行中も、GPSによる警告を發します。これは登録ポイントに近づいている為で誤作動ではありません。
- 本製品は日本国内で正常に動作します。日本以外の国ではGPS動作が保証外となります。またレーダー周波数が異なる場合があります。
- 本製品はGPSによる誤作動対策の“GPS対応”とは違います。
- 本製品を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけて下さい。
- 仕様および外観の一部を予告なく変更する場合があります。

## 11. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じた時は、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症状	原因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体の電源ジャックにしっかりと差し込まれていない。</li> <li>● シガーライターソケットの汚れによる接触不良 (2~3回まわしながら差し込んでください)</li> <li>● シガーライターソケットに電源がきていない。(シガーライターを差し込んで赤熱することを確認してください)</li> <li>● シガーライタープラグのヒューズが切れている。(新しいヒューズと交換してください)</li> </ul>
取り締り機に接近しても反応しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● GPS電波を受信していない。</li> <li>● 本製品に登録されていないオービス、またはスピード取締機でないシステム (Nシステム等) である。(取締機で反応しない場合はオリジナルポイント登録をおすすめします)</li> <li>● 取締準備中または終了後などでレーダー式取締機に電源が入っていない。</li> <li>● AACの反応速度設定が高すぎる (AACの反応速度を低くしてください)</li> </ul>
取り締り機以外で反応する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器の影響</li> </ul>
車のキーを抜いても電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車のキーを抜いてもシガーソケットの電源が切れない車があります。(長時間使用しない場合はプラグを抜いてください)</li> </ul>
充電できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 太陽光を十分に当てても充電できないときは、カー電源コードを使って充電できるか確認してください。</li> <li>● カー電源コードで充電できないときは、内部のヒューズが切れていないか確認してください。</li> <li>● 充電電池の寿命</li> </ul>
エラーメッセージに“NO GPS”と表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源スイッチを入れ直すか、強制充電してください。</li> </ul>

## 12. 主な仕様

### GPS部

項目	規格		備考	
受信部	受信周波数	1.57542GHz		
	追尾コード	C/Aコード		
	受信チャンネル	12チャンネル/パラレル		
登録数	オービス登録点	登録数	約630箇所	
		登録種類	レーダー、ループ	
	ユーザー登録点	反応対象	ハイウェイ、一般道、オールの選択可	
		最大登録件数	70ポイント	
警報距離	オービス登録	一括して設定可能		
警報音	ユーザー登録点	アドレス毎に設定可能		
	オービス登録点	13種類の鳴動音から選択可能	鳴動ピッチ変化 3段階	
表示情報	ユーザー登録点	アドレス毎に13種類の鳴動音から選択可能	反応圏内になると警報画面になる	
	衛星数	測定状態でなければ点滅表示		
	位置	自位置、オービス点、ユーザー登録点の緯度/経度		
	速度	自車走行速度		
	時間	時、分、秒のデジタル表示		
	距離	オービス点、ユーザー登録点までの距離		
	方位	進行方位を上とするコンパス表示 (アナログ式)、コンパス上にオービス点、ユーザー登録点を表示		
	オービス登録点	レーダー	"RADAR" と表示	
	ユーザー登録点	ループ式	"LOOP" と表示	
	ユーザー登録点	アドレス番号を表示		

### レーダー部

項目	条件	規格	備考
受信方式	-	ダブルスーパーヘテロダイナ	
受信周波数	Xバンド	10.525GHz	X, K自動判別
	Kバンド	24.15GHz	
受信モード	SUPER	感度高	
	NORAMAL	感度標準	
受信感度	SUPER	Xバンド -95dBm以下	
	NORAMAL	Kバンド -90dBm以下	
警報	音	SUPER+3dB以上	ピッチ変化 3段階
		XK波	
	表示	ステルス波	13種類の鳴動音から選択可能
		5点バークグラフ	

### 受信機部

項目	規格		備考
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイナ		
受信周波数	警察デジタル無線	159.275MHz~160.575MHz	25kHzステップ×53ch
	取締連絡波	350.1MHz	
	カーロケ波	407.725MHz	
警報音 (受信時)	警察デジタル無線	13種類の鳴動音から選択	
	取締連絡波	14種類の鳴動音から選択	VOICEが含まれる
	カーロケ波	13種類の鳴動音から選択	鳴動時間：5秒/受信、鳴動抑圧時間：30s
警報表示 (受信時)	警察デジタル無線	"160MHz"と点滅表示	
	取締連絡波	"350MHz"と点滅表示	
	カーロケ波	"407MHz"と点滅表示	表示時間：5秒/受信

### 4. 外観/一般

項目	仕様		備考
サイズ	78W×34H×120D		突起部含まず
ディスプレイ	128×32ドット STNモノクロLCD		
スピーカ	φ20 8Ωダイナミック型		
操作部	ボタン	2個 MODE、DATA	
	スイッチ	1個 POWER	後部
動作環境	保存温度	-30℃~+80℃	
	使用温度	0℃~+60℃	
電源	電圧	DC12V	
	電流	150mA	
内部電源	Ni-MH電池	ニッケル水素 400mAh	
	ソーラ電池	単結晶太陽電池 5V/66mA	
外部接続端子	電源	φ1.3電源ジャック	後部
質量	200g		本体のみ

## 保証規定

- 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に、正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 保証期間中に修理を依頼される場合は、本機に保証書を添えて、お買い上げ販売店にお持ちください。
- 次のような場合には保証期間であっても有料修理となります。
  - 使用上の誤り、本機に改造を加えたことによる故障、またはお買い上げ店以外で修理されたことによる故障
  - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障や損傷
  - 火災、地震、水害、公害、規定外の電源（電圧・周波数）の使用、その他天災地変などによる故障および損傷
  - 保証書のご提示がない場合
  - 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句が書き替えられている場合
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

### 修理メモ